

JVA競技者拡大プログラム

～みんなでバレーボールをやってみよう～

2022年度「Vリーグ選手と一緒にバレーボール教室」開催要項

- 1 目的
①トップ選手とのふれあいを通して、バレーボールに興味・関心を持たせバレーボールに取り組むきっかけをつくる。
②元Vリーグ選手のプレイをみたり、一緒に活動することによりVリーグのチームや試合に関心を持ち、進んで試合観戦やテレビ視聴をし応援しようとする態度を育てる。
③経験者に対しての技術指導の場でなく、未経験者に対してバレーボールの楽しさを伝える場とする。
④親子が一緒に参加し、子育て講演会やソフトバレーボール交流試合を併行して開催し小学生バレーボールへの理解を深める。
- 2 主催 公益財団法人日本バレーボール協会 日本小学生バレーボール連盟
- 3 主管 公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会
日本小学生バレーボール連盟指導普及委員会
開催県バレーボール協会・開催県小学生バレーボール連盟
- 4 協力 Vリーグ機構
- 5 開催期間 2022年5月～2023年1月上旬
- 6 開催地 全国5会場
- 7 日程
9：30～10：00 受付・開講式（元V選手紹介）
10：00～12：00
（児童） ○実技～バレーボールを使っての体ほぐし運動
○実技～バレーボールにチャレンジ（基礎・基本技術）
○実技～元Vリーグ選手の模範プレイ
（保護者） ○講演～「スポーツと子育て」
12：00 昼食・休憩
13：00～14：30
（児童・保護者） 実技～親と子のソフトバレーボール交流
14：30～ 閉講式（V選手の質問コーナー）
*サイン会・写真撮影
- 8 参加者
○バレーボールの初心者で個人又はグループによる参加とする。
○既にバレーボールを行っている児童が未経験の子を誘ってくる形でもよい。
○できる限り経験者のみになることのないように留意する。
※事前事後とコロナ感染対策を講じることが可能な児童の参加を基本とする。

9 講 師

- V機構より1会場に2名の講師を派遣するよう協力を得る。
- 元Vリーグ選手・スタッフや小学生バレーボール指導経験者等の実技指導者を委嘱する。
- 保護者講師として小学生教育関係者等を委嘱する。
- アシスタントコーチとして、開催地バレーボール協会役員を各会場5名程度委嘱する。

10 その他

- コロナ感染対策として三密を避けて実施できるように、十分配慮する。
- 可能な限り親と子が一緒に参加するようにする。
- 開催地には、15万円の運営費を主催者が補助する。
- 講師（元Vリーグ選手、実技講師、保護者講師）の旅費、謝礼等は主催者が負担する。
- 会場設営は、バレーボールコート1面、ソフトバレーボールコート4～6面以上を用意する。
- 保護者講演会場として部屋を用意する。
- 使用ボールは開催地でご準備願います。
※教室参加児童一人に一個程度用意願います。

11 開催申請

- 開催地は事前(開催予定の3か月前まで)に開催計画書及び予算書を日小連事務局に提出する。
- 都道府県協会、都道府県小連と担当者が連絡の上、開催希望を尊重し、且つVリーグ機構の要望も取り入れて最終決定する。
- 開催地決定後、「運営マニュアル」を送付する。それをもとに準備・運営を進める。
- 開催地は教室終了後、すみやかに報告書を提出する。
- 事業担当者
公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会
日本小学生バレーボール連盟担当者 森指導普及委員長
[提出先] 日本小学生バレーボール連盟事務局 office@jeva-web.com